

## 韓国留学 2016年 前期

文学部 北岡桐子

皆さんこんにちは。私は2016年2月から約1年間、県立大学の姉妹校である祥明大学に交換留学生として留学しました。大学で韓国語を学び始めてから言語の面白さを知り、より学びたいという気持ちから勉強をしていたことが、留学のきっかけとなりました。1年間という期間を言語も文化も異なる国で過ごしたことは、私にとって良い刺激となると同時に沢山のチャンスが開ける機会となりました。そこで今回は、そんな私の韓国生活の一部をご紹介します。

**3月** 韓国の新学期は3月から始まります。2日に開講し、1週間は日本と同じように受講する授業を変更することもできます。しかし、韓国では受講申請は先着順です。人気の授業は申請時間がスタートして1, 2分で締め切りになってしまうこともざらです。また、課題の提出は学校のサイトに上げるなど、日本とは異なる方法に戸惑うこともありましたが、寮のルームメイトと、その友人がオンニ（お姉ちゃん）として学校生活はもちろん、韓国での生活を助けてくれました。この二人のオンニに出会ったことで、私は韓国語の実力も伸ばすことができたのだと思います。

**4月** 授業にも徐々に慣れてくる4月。韓国では1つの学期に中間、期末と2回の定期考査が行われます。試験勉強をオンニたちと一緒にしながら、お互いに日本語や韓国語を教え合うことができました。私は文学史や翻訳の授業をとっていたので専門的な単語が出てきて苦労しましたが、その分やりがいもありました。初めて試験勉強を韓国語で行い、韓国語で答案を作成するという一方で、緊張するとともにわくわくする気持ちもありました。オンニたちが本当によく勉強するので私も最後までやりきることができました。試験期間中にはペダルといって料理の配達を注文して、食事の時間は息抜きをしたりもしました。



桜の季節には校内

が写真を撮る生徒でにぎわいます。

**5月** 中間考査も終えて少し浮足立った雰囲気が始まった5月。私は一緒に留学にきた先輩方と、日文科のオンニたちとチョンジュというところに旅行に行きました。韓国に留学に来てから初めての遠出で、とても楽しむことができました。チョンジュは韓屋村といって、韓国の伝統的な家屋で有名な観光名所となっており、私たちも韓服を着て観光をしました。また、夜には市場へ行き、買い食いをしたりしました。普段学校に通っているときは勉強のことばかり考えがちなので、遠くに出かけていつもと違った風景を見ることが良い気分転換になりました。



**6月** 中間考査を終えてほっとしたのもつかの間。6月には期末考査がありますが、

試験勉強に加えて授業の翻訳作業も重なり少し苦勞しました。授業はもちろん全て韓国語で行われるのですが、それだけでなく積極的に自分の考えを発言することも求められます。なぜそのように考えるのか、問題点の改善策などを説明することは簡単ではありませんでしたが、何度も回数を重ねることで実力も上がっていきました。

**7月** 期末試験を終えて夏休みになりました。7月にはソウルの新村（シンチョン）

に部屋を借りて生活をしながら、今まで行きたかった所に行くなどソウルでの生活を満喫できました。夏休みという時間を利用して以前から気になっていた本に挑戦してみるなど、新しい韓国語に触れる機会を積極的に作って楽しく勉強することができたように思います。



道沿いに色鮮やかでお洒落なお店が立ち並びます。

**8月** 8月には延世大学の語学堂の3週間プログラムに参加しました。短い期間でど

の程度実力を伸ばせるか期待するとともに、知り合いがいない状態で心細くもありましたが、授業が始まってみると様々な国から来た人たちと友達になり、毎日が本当に充実していました。8級という一番上のクラスなだけに、授業も生徒もレベルが高く、それについていくため授業以外でも一日に5時間は勉強に費やしていました。そのおかげで、プログラムを終えた後に韓国語の実力の伸びを感じることができました。そこで出会った友人たちとは今でも連絡を取り合うなど、韓国語を通して繋がりもできました。



夏には景福宮の夜間ライト

アップが行われます。昼間とは一味違った美しさを楽しむことができます。